

2026年5月1日

お客様各位

SBI岡三アセットマネジメント株式会社

世界半導体関連フォーカスファンド

年間騰落率113.7%、窓販ファンド1,606本※中で第1位に

— 半導体市場の成長を捉えた投資成果が顕在化 —

SBI岡三アセットマネジメント株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:塩川克史)が運用する「世界半導体関連フォーカスファンド」は、2026年4月27日発刊の業界紙「ニッキン投信情報」において、年間騰落率113.7%でランキング第1位となりました。

本ランキングは、銀行・信用金庫等で取り扱われる窓口販売(窓販)ファンドのうち、純資産総額50億円以上の1,606本を対象に、2026年3月末時点の騰落率をもとに算出されたものです。足元では生成AI需要の拡大等を背景に、半導体はグローバル市場における成長分野として注目が高まっており、当ファンドはこうした市場環境を捉えた投資成果が今回の結果につながったものと考えております。

また、同ランキングにおいて、弊社が運用する「グローバル仮想世界株式戦略ファンド(愛称:フューチャーメタバース)」も、年間騰落率77.5%で第13位となりました。

弊社は創業以来60年以上にわたり、資産運用サービスを提供してまいりました。「Challenge & Uniqueness」の企業理念のもと、資産運用の未来に貢献し、お客様の期待をこえるよう挑み続けてまいります。

以上

※銀行、信金等で取り扱いがある窓販ファンド1,606本(対象は2025年3月以前に設定された株式投信追加型で、26年3月末基準の純資産総額50億円以上のファンド)

ニッキン 投信情報

(6) ニッキン投信情報

調査 窓販ファンドの騰落率 (2026年3月末)

No. 1

SBI岡三「世界半導体関連フォーカスファンド」が113.7%で年間騰落率1位に

年間騰落率1位はUBS「UBS原油先物ファンド」で33.8%

銀行、信金等で取り扱いがある窓販ファンド1,606本(対象は2025年3月以前に設定された株式投信追加型で、26年3月末の純資産総額50億円以上のファンド)の26年3月末基準の騰落率を算出し、年間、月間でランキングした。10頁以降には、ニッキン・ファンド分類(NF分類)別に年間騰落率の高い順に一覧にしている。

26年3月の世界の株式市場は、米国とイスラエルのイラン攻撃、イランによる反撃などによる中東情勢の悪化、原油価格急騰などで値を下げる展開となった。

各国の主要指数等を見ると、東証株価指数(TOPIX)は終値ベースで26年2月最終営業日の3,938.68から3月最終営業日は3,497.86へ11.2%の大幅な下落に(グラフ参照)。米国では

同期間のNYダウが48,977.92から46,341.51に5.4%下落、S&P500指数は6,878.88から6,528.52に5.1%下落した。東証REIT指数は同1,999.33から1,848.45に7.5%下落している。同期間の米ドル/円の為替レートは終値ベースで2円66銭の円安ドル高、ユーロ/円は同1円の円高ユーロ安だった。

NF分類別の騰落率を見ると(26年3月末基準。表1参照)、1年間騰落率は全18分類で上昇。上昇率1位は55.7%の「国際株・中南米」。2位の「国内株一般・システム」も51.2%と50%超え。3位は「インデックス・日経225」で45.2%だった。この他、「国内株一般・アクティブ」(36.6%)、「国内株一般・インデックスその他」(34.5%)、「インデックス・TOPIX」(34.2%)、「国内株中小型・店頭」(31.1%)と、国内株型を中心に7分類が年間騰落率30%超えとなった。

一方、1カ月騰落率は全18分類で下落した。下落率が最も小さかったのは「転換社債型」で▲1.1%。「バランス・債券投資」も▲1.3%と▲1%台の低下に。反対に下落率が最も大きかったのは「インデックス・日経225」で▲12.7%。「国内株一般・システム」(▲11.8%)、「国内株中小型・店頭」(▲11.4%)、「国内株一般・アクティブ」(▲11.3%)など7分類が10%を超える下落率となっている。

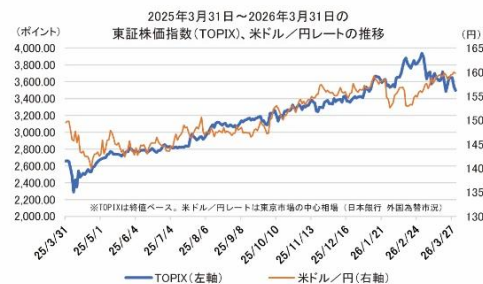


表1 窓販ファンドのNF分類別騰落率(2026年3月末)

順位	NF分類	1年	6カ月	3カ月	1カ月	本数
1	国際株・中南米	55.7	27.0	16.6	▲4.8	1
2	国内株一般・システム	51.2	20.9	5.4	▲11.8	2
3	インデックス・日経225	45.2	14.4	2.1	▲12.7	43
4	国内株一般・アクティブ	36.6	13.2	4.2	▲11.3	154
5	国内株一般・インデックスその他	34.5	12.7	3.6	▲10.3	1
6	インデックス・TOPIX	34.2	12.6	3.6	▲10.4	46
7	国内株中小型・店頭	31.1	6.1	2.8	▲11.4	22
8	インデックス・その他	24.5	5.6	▲2.7	▲7.0	148
9	国際株・北米	22.1	2.0	▲5.6	▲7.1	49
10	国際株一般・インデックス	22.0	3.3	▲5.3	▲6.3	15
11	国際株一般	20.7	1.7	▲5.3	▲8.1	201
12	ファンド・オブ・ファンズ	16.7	5.3	▲1.0	▲5.4	501
13	国際株・アジアオセアニア	14.5	1.2	▲5.5	▲9.2	27
14	バランス・株債投資	13.0	3.9	▲0.7	▲5.0	184
15	国際株・欧州	9.2	0.9	▲7.4	▲10.6	4
16	転換社債型	7.9	2.7	▲0.3	▲1.1	3
17	バランス・債券投資	7.1	3.6	0.2	▲1.3	204
18	TAA	3.1	▲0.3	▲0.1	▲3.5	1

(注)株式投信追加型で純資産総額50億円以上のファンド

■半導体関連ファンドが上位10本中7本占める
個別ファンドの年間騰落率1位(表2参照)は、SBI岡三「世界半導体関連フォーカスファンド」(福岡銀など20行、19証券で取り扱い)。日本を含む世界各国の取引所等に上場している半導体関連企業の株式に投資するファンド。26年3月末現在の上位銘柄の組入比率は、1位がマイクロン・テクノロジー(7.6%)、2位がラムリサーチ(6.3%)、3位がエスピディア(6.2%)。25年3月31日に10,258円だった基準価額は26年3月31日には21,920円まで上昇、年間騰落率は113.7%となった。

2位はわが国の金融商品取引所に上場されて

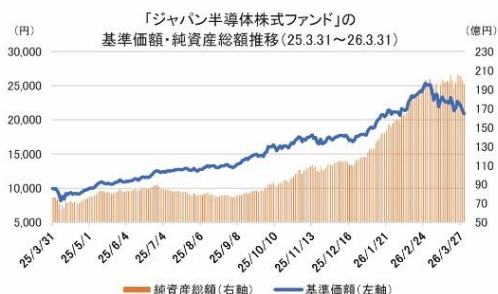
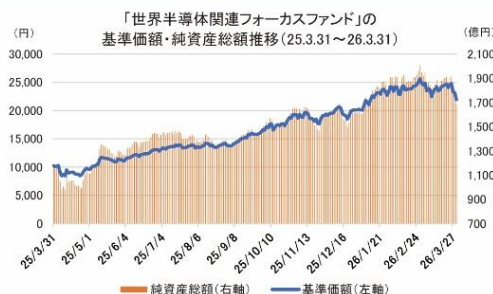
(コピー厳禁)

NIKKIN INVESTMENT TRUST NEWS 2026. 4. 27

日本金融通信社が記事利用を許諾しています
ニッキン投信情報 2026年4月27日発行 6ページ

調査 窓販ファンドの騰落率 (2026年3月末)

No. 2



いる半導体関連企業の株式に投資するアモーヴァ「ジャパン半導体株式ファンド」(三菱UFJ銀など3行、11証券などで取り扱い)で110.5%。基準価額は25年3月31日の9,928円から26年3月31日には20,900円まで値を上げた。

南アフリカ、オーストラリア、カナダ、アメリカ等の金鉱企業の株式を中心にその他鉱業株式を主要投資対象とするBRJ「ブラックロック・ゴールド・ファンド」(三菱UFJ銀など12行、京都信金、20証券などで取り扱い)が106.1%で3位だった。

1位、2位のファンドの他、年間騰落率上位には半導体関連ファンドが多くランクイン。4位三菱UFJ「eMAXIS 日経半導体株インデックス」(年間騰落率105.1%)、5位三井住友TA「半導体関連 世界株式戦略ファンド(愛称:半導体革命)」(同102.7%)も100%を超える騰落率となるなど、上位10本中7本を占めた。

■月間騰落率、上位10本中9本が商品関連ファンド
月間騰落率が最も高かったのは(表3参照)は、UBS「UBS原油先物ファンド」(三菱UFJ

表2 年間騰落率ランキング・トップ20 (2026年3月末)

順位	運用会社	ファンド名称	NR	騰落率 (%)	基準価額 (円)	純資産総額 (百万円)	NF分類	成長投資枠
1	SBI岡三	世界半導体関連フォーカスファンド	4	113.7	21,920	169,199	ファンド・オブ・ファンズ	○
2	アモーヴァ	ジャパン半導体株式ファンド	4	110.5	20,900	19,541	国内株一般・アクティブ	○
3	BRJ	ブラックロック・ゴールド・ファンド	4	106.1	27,104	85,613	国際株一般	○
4	三菱UFJ	eMAXIS 日経半導体株インデックス	4	105.1	13,887	18,857	国内株一般・アクティブ	○
5	三井住友TA	半導体関連 世界株式戦略ファンド(愛称:半導体革命)	4	102.7	21,108	278,986	ファンド・オブ・ファンズ	○
6	三井住友TA	半導体関連 日本株式戦略ファンド(愛称:半導体ジャパン)	4	96.4	15,700	31,463	国内株一般・アクティブ	○
7	三菱UFJ	eMAXIS Neo 宇宙開発	4	90.7	45,566	43,564	インデックス・その他	○
8	野村	野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)	4	90.3	252,735	629,540	国際株一般	○
9	しんきん	しんきん日米半導体株ファンド	4	90.0	18,345	16,167	バランス・株債投資	○
10	三井住友DS	ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド(為替ヘッジなし)(愛称:電力革命)	4	80.1	17,350	542,421	国際株一般	○
11	ニッセイ	ニッセイSOX指数インデックスファンド(米国半導体株)〈購入・換金手数料なし〉	4	77.8	27,479	58,596	国際株・北米	○
12	アモーヴァ	資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース	4	77.5	3,641	10,343	ファンド・オブ・ファンズ	
13	SBI岡三	グローバル仮想世界株式戦略ファンド(愛称:フューチャーメタバース)	4	77.5	26,316	12,176	ファンド・オブ・ファンズ	○
14	アモーヴァ	インデックスファンドSOX指数(米国内半導体株)	4	77.3	22,164	8,905	インデックス・その他	○
15	大和	日本企業PBR向上ファンド(愛称:プレイクスルー)	4	74.2	17,231	48,628	国内株一般・アクティブ	○
16	BRJ	ブラックロック天然資源株ファンド	4	71.1	21,919	18,483	ファンド・オブ・ファンズ	○
17	野村	小型ブルーチップオープン	4+	68.7	34,388	80,665	国内株中小型・店頭	○
18	アモーヴァ	深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)	4+	66.6	21,005	20,190	国際株・アジアオセアニア	○
19	アモーヴァ	グローバル・スペース株式ファンド(1年決算型)	4	65.9	31,705	44,598	国際株一般	○
20	アモーヴァ	Tracers S&P500ゴールドプラス	4+	65.8	39,016	113,222	国際株・北米	

(注)「NR」はニッキンリスク分類の略。○は成長投資枠対応ファンド(4月16日現在)

(コピー厳禁)

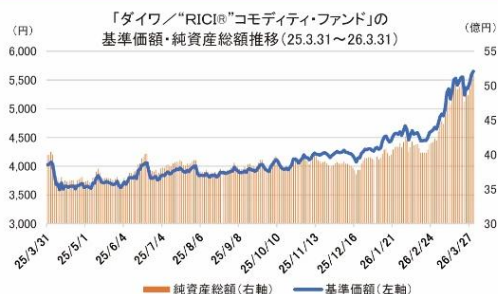
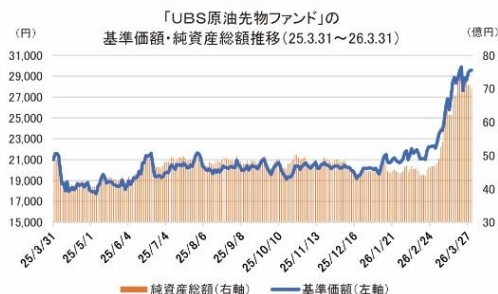
NIKKIN INVESTMENT TRUST NEWS 2026. 4. 27

日本金融通信社が記事利用を許諾しています
ニッキン投信情報 2026年4月27日発行 7ページ

(8) ニッキン投信情報

調査 窓販ファンドの騰落率 (2026年3月末)

No. 3



銀など6行、8証券で取り扱い。世界の代表的商品市況を表すUBS CMCI指数のWTI原油指数(円換算ベース)におおむね連動し、WTI原油の先物指数動向を反映する投資成果を目指すファンド。3月の原油先物相場は、月初からの米国とイスラエルによるイラン攻撃により急上昇。その後、トランプ大統領の発言などにより乱高下する展開となったが、3月末は1バレル100ドル以上の高値水準で引けた。これらを受け、同ファンドの基準価額は26年2月27日の22,112円から26年3月31日は29,583円へ大きく上昇、月間騰落率

は33.8%となった。

世界のコモディティ(商品)価格の中長期的な上昇を享受するために、ロジャーズ国際コモディティ指数®(RICI®)の動き(円換算)に連動する投資成果を目指す大和「ダイワ/“RICI”コモディティ・ファンド」(PayPay銀など5行、18証券などで取り扱い)が21.5%で2位。2月はコモディティ価格が上昇。セクター別では、エネルギー、農産物が上昇した。結果、26年2月27日に4,649円だった基準価額は26年3月31日には5,648円となっている。

表3 月間騰落率ランキング・トップ20 (2026年3月末)

順位	運用会社	ファンド名称	NR	騰落率 (%)	基準価額 (円)	純資産総額 (百万円)	NF分類	成長投資枠
1	UBS	UBS原油先物ファンド	4	33.8	29,583	7,009	インデックス・その他	
2	大和	ダイワ/“RICI”コモディティ・ファンド	4	21.5	5,648	5,156	ファンド・オブ・ファンズ	
3	ドイツ	DWS コモディティ戦略ファンド(年1回決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	4	19.4	25,709	6,096	ファンド・オブ・ファンズ	
4	三菱UFJ	eMAXISプラス コモディティインデックス	4	15.2	18,790	21,044	ファンド・オブ・ファンズ	
5	野村	米国エネルギー革命関連ファンド Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:エネルギーレボリューション)	4	9.0	26,912	17,630	ファンド・オブ・ファンズ	
6	三井住友TA	MLP関連証券ファンド(為替ヘッジなし)	4	9.0	12,530	5,892	ファンド・オブ・ファンズ	
7	三井住友TA	コモディティ・オープン(SMA専用)	4	8.3	19,592	36,086	バランス・株債投資	○
8	三菱UFJ	米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジなし(愛称:エネルギー・ラッシュ)	4	7.4	10,106	15,340	ファンド・オブ・ファンズ	
9	アモーヴァ	インデックスファンドMLP(毎月分配型)	4	5.9	8,787	6,211	インデックス・その他	
10	三菱UFJ	オルタナティブ資産セレクション(ラップ向け)	4	2.9	20,690	14,366	ファンド・オブ・ファンズ	
11	AM-One	ドルマネーファンド	3	2.8	11,067	5,688	バランス・債券投資	○
12	フランクリン	フランクリン・テンブルトン・米ドル毎月分配型ファンド	3	2.6	10,966	5,408	バランス・債券投資	
13	三菱UFJ	米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	3+	2.5	8,855	9,766	ファンド・オブ・ファンズ	
14	三井住友TA	バンクローン・オープン(為替ヘッジなし)	3+	2.2	10,814	7,949	ファンド・オブ・ファンズ	
15	三菱UFJ	先進国好利回りCBファンド2023-03(為替ヘッジなし)(限定追加型)	3+	1.9	14,714	9,359	転換社債型	
16	SBI岡三	中国人民幣元ソリンオープン(愛称:夢元)	3+	1.8	14,953	6,807	バランス・債券投資	○
17	JPモルガン	JPMグローバル高利回りCBファンド(為替ヘッジなし、限定追加型)2023-11	3+	1.4	12,728	9,367	バランス・債券投資	
18	SBI	(ラップ専用)SBI+米国債券	3	1.2	13,584	20,274	ファンド・オブ・ファンズ	
19	フィデリティ	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(資産成長型)D(為替ヘッジなし)	3+	1.1	26,752	244,668	バランス・債券投資	○
20	フィデリティ	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)B(為替ヘッジなし)	3+	1.1	3,666	731,652	バランス・債券投資	

(注)「NR」はニッキン・リスク分類の略。○は成長投資枠対応ファンド(4月16日現在)

(コピー厳禁)

NIKKIN INVESTMENT TRUST NEWS 2026. 4. 27

日本金融通信社が記事利用を許諾しています
ニッキン投信情報 2026年4月27日発行 8ページ

調査 窓販ファンドの騰落率 (2026年3月末)

No. 4

3位はドイツ「DWS コモディティ戦略ファンド(年1回決算型)Bコース(為替ヘッジなし)」(PayPay銀、7証券などで取り扱い)で19.4%だった。

3月は原油価格上昇などの影響を受け、1~3位のファンドの他、4位三菱UFJ「eMAXISプラス コモディティインデックス」(月間騰落率15.2%)、5位野村「米国エネルギー革命関連ファンド Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:エネルギーレボリューション)」(同9.0%)など、上位10本中9本が商品関連ファンドだった。

■三井住友DS「SMBC・DCインデックス(日経225)」がつみたて投資枠年間騰落率首位
 少額投資非課税制度(NISA)のつみたて投資枠対象ファンド(銀行、信金等で取り扱いの無いファンドを含む)の年間騰落率ランキング(表4参照、算出対象は312本)トップは、三井住友DS「SMBC・DCインデックスファンド(日経225)」で45.7%。2位はニッセイ「ニッセイ日経平均インデックスファンド<購入・換金手数料なし>」で45.7%、3位は三菱UFJ「eMAXIS Slim 国内株式(日経平均)」で45.7%となっている。

成長投資枠対象ファンドの年間騰落率ランキング(表5参照、算出対象は2,080本)を見ると、上昇率が最も高かったのは134.1%のSBI岡三「アジア半導体関連フォーカスファンド(愛称:ライジング・セミコン・アジア)」。2位もSBI岡三「世界半導体関連フォーカスファンド」で113.7%。3位はアモーヴァ「ジャパン半導体株式ファンド」で110.5%だった。

■設定額首位は三菱UFJ「オルカン」で3,536億円
 解約額トップはAB「米国成長株D」で826億円
 対象ファンド(25年3月以前に設定、銀行、信金等で取り扱いのある窓販ファンドで、26年3月末の純資産総額50億円以上)の26年3月における設定額(表6参照)は、三菱UFJ「eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)(愛称:オルカン)」が3,536億円で首位。前月比では79億円減少した。

月間解約額(表7参照)が最大だったのはアライアンス「アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型」で826億円(前月比256億円増)だった。

表4 NISAつみたて投資枠の年間騰落率 (2026年3月末)

順位	運用会社	ファンド名称	NR	騰落率 (%)	基準価額 (円)	純資産総額 (百万円)
1	三井住友DS	SMBC・DCインデックスファンド(日経225)	4-	45.7	24,745	44,188
2	ニッセイ	ニッセイ日経平均インデックスファンド<購入・換金手数料なし>	4-	45.7	33,623	158,208
3	三菱UFJ	eMAXIS Slim 国内株式(日経平均)	4-	45.7	25,259	335,975
4	AM-One	たわらノロード 日経225	4-	45.6	30,981	349,704
5	野村	はじめてのNISA・日本株式インデックス(日経225)(愛称: Funds-1 Basic 日本株式(日経225))	4-	45.6	16,532	28,859
6	大和	iFree 日経225インデックス	4-	45.6	35,746	179,291
7	三菱UFJ	つみたて日本株式(日経平均)	4-	45.6	30,161	239,571
8	農中全共済	NZAM・ベータ 日経225	4-	45.6	23,944	1,380
9	楽天	楽天・プラス・日経225インデックス・ファンド(愛称: 楽天・プラス・日経225)	4-	45.6	15,997	63,172
10	野村	野村つみたて日本株投信	4-	45.6	29,023	31,500

表5 NISA成長投資枠の年間騰落率 (2026年3月末)

順位	運用会社	ファンド名称	NR	騰落率 (%)	基準価額 (円)	純資産総額 (百万円)
1	SBI岡三	アジア半導体関連フォーカスファンド(愛称:ライジング・セミコン・アジア)	4	134.1	17,694	23,277
2	SBI岡三	世界半導体関連フォーカスファンド	4	113.7	21,920	169,195
3	アモーヴァ	ジャパン半導体株式ファンド	4	110.5	20,900	19,541
4	三菱UFJ	eMAXIS Neo 水素エコノミー	4	106.8	20,458	2,799
5	BRJ	ブラックロック・ゴールド・ファンド	4	106.1	27,104	85,613
6	BRJ	ブラックロック・ゴールド・メタル・オープン Bコース(為替ヘッジなし)	4	105.6	25,290	79,181
7	三菱UFJ	eMAXIS 日経半導体株式インデックス	4	105.1	13,887	18,857
8	野村	野村インデックスファンド・日経半導体株(愛称: Funds-1 日経半導体株)	4	104.5	17,227	1,971
9	三菱UFJ	eMAXIS Neo クリーンテック	4	103.3	12,035	2,851
10	三井住友TA	半導体関連 世界株式戦略ファンド(愛称: 半導体革命)	4	102.7	21,108	278,986

(注)「NR」はニッキンリスク分類の略。銀行、信金等で取り扱いの無いファンドを含む

表6 設定額ランキング・トップ10 (2026年3月)

順位	運用会社	ファンド名称	NR	設定額	前月比
1	三菱UFJ	eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)(愛称:オルカン)	4	353,626	▲7,968
2	三菱UFJ	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	4	217,839	▲11,209
3	インベスコ	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)(愛称:世界のベスト)	4	216,241	71,178
4	AM-One	日経225ノロードオープン	4-	99,686	42,774
5	ビクテ	ビクテ・ゴールド(為替ヘッジなし)	4	74,099	▲23,070
6	三菱UFJ	三菱UFJ 純金ファンド(愛称:ファイナゴールド)	4	68,201	▲15,045
7	三菱UFJ	eMAXIS Slim 国内株式(日経平均)	4-	60,325	24,530
8	朝日ライフ	WCM 世界成長株厳選ファンド(予想分配金提示型)(愛称:ネクスト・ジェネレーション)	4	57,672	10,885
9	三菱UFJ	eMAXIS Slim 国内株式(TOPIX)	4-	54,864	8,904
10	フィデリティ	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)	4	45,516	▲27,201

表7 解約額ランキング・トップ10 (2026年3月)

順位	運用会社	ファンド名称	NR	解約額	前月比
1	アライアンス	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	4	82,656	25,662
2	三菱UFJ	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	4	81,372	16,683
3	三菱UFJ	eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)(愛称:オルカン)	4	61,892	19,803
4	アライアンス	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	4	38,167	7,406
5	三菱UFJ	三菱UFJ 純金ファンド(愛称:ファイナゴールド)	4	37,901	▲6,815
6	インベスコ	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)(愛称:世界のベスト)	4	34,764	13,807
7	AM-One	日経225ノロードオープン	4-	31,292	▲51,498
8	ゴールドマン	netWIN GSテック/ロジック株式ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	4	25,954	2,353
9	SBI	{ラップ専用} SBI・ゴールド	4	25,231	24,490
10	ビクテ	ビクテ・ゴールド(為替ヘッジなし)	4	20,244	1,284

(注)「NR」はニッキンリスク分類の略。銀行、信金等で取り扱いの無いファンドを含む

(コピー厳禁)

NIKKIN INVESTMENT TRUST NEWS 2026. 4. 27

日本金融通信社が記事利用を許諾しています
 ニッキン投信情報 2026年4月27日発行 9ページ

留意事項

SBI岡三アセットマネジメントについて

商号：SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人資産運用業協会に加入しています。

投資信託のリスク

- 投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。

留意事項

- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

お客様にご負担いただく費用

- お客様が購入時に直接的に負担する費用
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.85%（税抜3.5%）
- お客様が換金時に直接的に負担する費用
信託財産留保額：換金時に適用される基準価額×0.3%以内
- お客様が信託財産で間接的に負担する費用
運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担：純資産総額×実質上限年率2.046%（税抜1.86%）
※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×上限年率0.0132%（税抜0.012%）
※上記監査費用の他に、有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。
(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、委託会社であるSBI岡三アセットマネジメント株式会社が運用する公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。■投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書(交付目論見書)」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

(2026年4月末現在)

<本資料に関するお問い合わせ先>

電話番号 03-3516-1300 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)



商号等：SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会
〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン21階